

# 2019年 プログラム近況報告

## カンボジア ポニャー・ルウ地域開発プログラム



ご支援により、地域の子どもたちが  
よりよい環境で育つことができます



皆さまの温かいご支援が、ポニャー・ルウ地域の子どもたちの生活に変化をもたらしてくださっています。ご支援をありがとうございます。最大の成果は、子どもの権利に取り組む委員会を結成し、子どもたちを保護できたことです。また、地域のさまざまな立場の大人を巻き込むことで、子どもたちの安全を守ることができました。

最大の課題は、貧しい家庭の多くが、職を求めて出稼ぎのために移住しなければならないことです。これは、子どもたちの学校中退や育児放棄につながります。私たちはこういった家庭が収入を得、地域にとどまることができるよう、職業訓練や小規模の起業訓練を進めています。皆さまからのご支援は子どもたちにとって大きな助けとなっています。

心から感謝いたします。

ダラ・トーン

ポニャー・ルウ地域開発  
プログラムマネージャー

# 今年も地域の子どもたちへのご支援をありがとうございます



## 地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちは暴力から保護され、自分たちの権利を理解しています。若者グループが、377人の子どもたちを対象に11回の研修を実施し、子どもの権利について伝えたほか、搾取や虐待から身を守る方法を教えました。253人の大人が児童保護委員会を結成し、虐待の通告ができるようになりました。



## 価値ある存在として尊重され愛情を受けました

弱い立場にある家庭の子どもたちも、教育を受けられるようになりました。

養鶏研修によって29家庭の親たちが収入を増やし、村にとどまって子どもたちを学校に通わせることができます。

10代の若者が学習支援を受け、技能を身につけています。

54人の若者が、コンピュータと言語の研修を受け、将来のために必要なスキルを身につけています。



## 健康状態が改善しました

多くの子どもたちが清潔さを保つことを学んでいます。

地域住民が協力して衛生習慣を教え、1,275人の子どもたちが手洗いの必要性を理解するようになりました。

出産時の安全性が向上しています。

34の村で262人の女性が、産前産後に保健センターで助産師のケアを受けるよう勧められました。



## 教育を受けました

学校で新しい技術を学んでいます。

コンピュータ4台が設置された教室で、50人の子どもたちと35人の若者グループメンバーがコンピュータの使い方を学んでいます。

安全に遊ぶことができる場所があります。

約180人の子どもたちが、6つの子どもクラブに参加し、安全に仲良く遊んだり、学んだりできる場が提供されています。



ご支援に感謝します

「子どもたちは虐待や搾取から保護されなければならない、ということ学びました。友だちと一緒に研修に参加し、また身を守る方法を知ることができてうれしいです」

スレイ・ノッチさん、14歳(カメラに向かって微笑んでいる少女)



「手洗いが大切なことを、ずっと知りませんでした。

衛生について学び、今では病気にかからずに過ごしています。

毎日手を洗い、健康に過ごせてうれしいです」

スレームオイちゃん、12歳(カメラに向かって微笑んでいる少女)



「図書館で、読書をするのが好きではありませんでした。でも、図書館に新しい本がたくさん入ったので、今は友だちと行って読書を楽しんでいます。読解力も向上しました」

チャハイエーくん、14歳(カメラに向かって微笑んでいる少年)



「以前は、地域での活動に、興味がありませんでした。しかし、活動が自分たちの生活を良くしていくものだと理解できたので、今は、児童保護委員会に参加し、チームで困難な状況にある家庭を訪問しています。

とてもやりがいがあります」

トエムさん、地域委員会のメンバー(緑色のシャツを着ている女性)



# 子どもたちを守るために働いています



スレイメイさん(後列、黒の洋服)は、児童保護委員として子どもたちに、子どもの権利について教えています

「私は17歳で高校を中退しました。当時付き合っていた人と、結婚したかったからです。母や知人は思いとどまるよう警告してくれましたが、私は耳を貸さず、みんなを怒らせてしまいました」とスレイメイさんは言います。

**“今は児童保護委員として、働いています”**

「わずか2年で離婚しました。彼は酒を飲んでけんかし、薬物取引にも手を出し、逮捕されたのです。その時初めて、自分が間違っていたことに気が付きました。ありがたいことに両親も友だちも、連絡を取り続けてくれていたので、実家に戻ることができました。家族は私を喜んで迎えてくれました」

「高校を辞める前まで参加していた若者グループにも復帰しました。子どもたちを危害から守ることを学ぶグループです。誰も私と同じ間違いを犯さないよう、自分の経験をメンバーに伝えることができました。今は児童保護委員として、周りの村の人々を訓練する立場になりました」



お問合せ先  
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
電話:03-5334-5351(平日9:30~17:00)



e-mail: [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)  
ホームページ: [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)

プログラム番号 CAM-182126

## カンボジア ポニャー・ルウ地域開発プログラム(CAM-182126)

2018年度(2017年10月1日-2018年9月30日)

### 会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	28,707,393
前期からの繰越額	-1,465,799
プログラム支援額合計	27,241,594

プログラム支出額	
保健・栄養・水衛生プロジェクト	7,721,382●
子どもの保護プロジェクト	5,995,494●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	12,694,331●
プログラム支出額合計	26,411,207
次期繰越額	830,387

### 活動内容

#### 保健・栄養・水衛生プロジェクト

- 5歳未満の子どもとその母親や保護者の健康(栄養改善含む)に関する啓発活動
- 保健センター運営委員会との定期ミーティングを通じた保健サービスの改善
- 産前・産後健診の推進

#### 子どもの保護プロジェクト

- 子どもの保護に関する地域住民と子どもへの啓発
- 児童虐待の予防と対処のための青少年グループ・教師グループの組織
- 行政機関との定期ミーティングの開催

#### スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 子どもの権利保護に関する啓発活動
- 最も脆弱な子どもの特定と学用品等の支援